



オオバタン

—1967.8.29入園♂

昔からとても怖がりで、人見知りが激しく、動物園の向かいの家の屋根や自転車置き場などへ逃げては、係員を困らせていました。

今では逃げ出す事はなくなりましたが、「おとぎの国」で他の鳥にちょっかいを出す、いたずらっ子になり、係員を困らせています。



コンドル

—1967.8.16入園♂

今も昔も相変らずのトラブルメーカーです。特に繁殖期になると、暴れん坊ぶりを発揮します。メスを追いかけ回し、求愛行動をするのはいいのですが、度が過ぎて怪我をさせてしまうのが悩みの種です。



シロエリ オオヅル

—1959.4.30入園♀

若い頃は、抱卵している途中にスッと立ち上がる姿が絵になったものです。しかし、最近ではめっきり脚が弱くなってしまい、抱卵から立ち上がる時には、よろけてしまうほどですが、オスと仲良く平和な暮らしを送っています。



アカゲザル (キンタロー)

—1970.11.4入園♂

一時代を築いたボス猿も、世代交代にともない群れの中での順位を下げてしまいました。今ではすっかり足腰が弱くなり、春には花粉症で悩まされていますが、子ザルとたわむれる良いおじいちゃんとして慕われ、穏やかに暮らしています。



ベニイロ フラミンゴ

—1965.3.11入園♂

まだまだ元気はおとろえず、群れの中での存在感が光ります。

創刊号を飾った時は子育ての最中でしたが、残念ながらここ数年は子育てをすることがありません。現在の15年来のペアと経験を生かして、また子育てしてくれることを期待しています。



ミシシッピーワニ

—1968.6.7入園♂

入園当初は体長1.5m、体重12.5kgで、夏は涼しい場所へ、冬は暖かい場所へと移動させながら飼育していました。1974年に爬虫類館で飼育されるようになってからは順調に成長を続け、今では、体長3m、体重200kgにもなり、部屋がせまくなってしまいました。